

お茶漬の味 (1952)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 115分
初公開日 1952/10/01
公開情報 松竹
映倫 G

【解説】

小津安二郎が野田高梧とともに書いた脚本を監督した作品。生まれも育ちも価値観も異なる夫婦が、そのギャップに悩みつつ、和解するまでを描く。野球、パチンコ、とんかつ、ラーメンなど、昭和20年代当時の風俗をふんだんに盛り込んでいるのも特徴。

田舎出身の佐竹茂吉は、社長の親友の娘で上流階級育ちの妙子と結婚した。妙子は一等車での旅行や野球観戦などで遊び回り、茂吉は妙子の嫌いなタバコ「朝日」を吸い、出かけるときは三等車に乗り、酔って帰ってはお茶漬けを食べていた。茂吉と妙子の溝は深まるばかり。妙子が同級生の住む神戸へ旅行している間に、茂吉の海外出張が決まり、妙子に連絡がつかないまま茂吉は日本を発ってしまう。

【クレジット】

監督 小津安二郎
製作 山本武
脚本 野田高梧
小津安二郎
撮影 厚田雄春
美術 浜田辰雄
衣裳 斎藤耐三
編集 浜村義康
音楽 斎藤一郎
出演 佐分利信 佐竹茂吉
木暮実千代 妙子
鶴田浩二 岡田登
笠智衆 平山定郎
淡島千景 雨宮アヤ
津島恵子 山内節子
三宅邦子 山内千鶴
柳永二郎 山内直亮
十朱久雄 雨宮京一郎
望月優子 平山しげ
設楽幸嗣 山内幸二
小園蓉子 女中ふみ
志賀直津子 西銀座の女
石川欣一 大川社長

上原葉子	黒田高子
美山悦子	女店員
日夏紀子	女店員
北原三枝	女給
山本多美	女中よね
山田英子	給仕
谷崎純	爺や
長谷部朋香	見合いの相手
藤丘昇一	事務員
長尾敏之助	社長秘書